



うっとおしい雨の季節がやってきました。早いものです。ことしも今月で半分過ぎることになったわけです。

■4日 むし歯予防デー

歯のいいわるいは、こどもの時から心掛けにもよります。4歳のこどもの90%がすでにむし歯になっているといわれます。丈夫な永久歯を育てるためには、乳歯のうちに治療しておくことです。4日から1週間は歯の衛生週間です。

■11日 入梅

厚い雨雲が空いっぱいにおおいかさびて、しとしとと降るのが梅雨の特徴。なにか胸のあたりがうっすらと汗ばみ、うっとおしい気持ちです。つゆどきで一番心配なのは食中毒です。冷蔵庫は万能と過信して失敗することがよくあります。健康には気をつけなくっちゃあ……。

■18日 父の日

家族一同、健康で明るく暮せる原動力はお父さんにもあるはずです。

この日はお母さんも少しすましてテーブルには好物に花を添え、早めに1本つけておくなど、あたたかい感謝の気持ちでふん囲気を盛りあげては…。

■18日 家庭の日(毎月第3日曜日)

最近、いろいろの事情で家族がともに生活するということが少なくなりひとりひとりの心のかよあいあいが失なわれています。せめてきょう一日を家庭の日としてみんながあたたかい楽しい生活の場としたいものです。

■20日 交通事故ゼロ日

家庭のしあわせを破壊する交通事故をなくするために、家族ぐるみで交通モラルを養い、正しい交通ルールを身につけ、正しい歩行者、安全な運転者として立派な交通社会人となることが大切です。

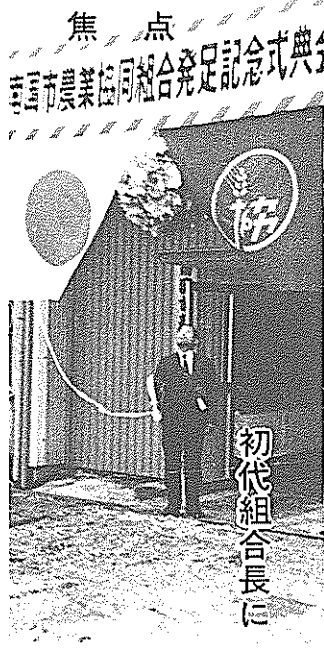
農協合併

▼南州市農業協同組合が五月一日にスタートしました。

市内の農協合併は十三農協全部が加わり、預金額八十二億円という超大型農協の実現をめざしていましたが、足なみがそろわず十三市三和、長岡を除く十農協でスタートすることになったものです。このため新農協の規模は組合員数三千百二十三戸、組合員四千八百四十二人、預金額五十四億円、共済保有約百十五億円となりました。

▼新農協の事務所は、新しい建て物ができるまでの間、大隊支所西側におかれます。

初代の組合長には島井武義氏(旧国府農協組合長)が選ばれ、役員をそれぞれ次のとおり決めまし



初代組合長に

た。カッコ内は旧農協名・敬称略

専務―窪田薫(大隊組合長)▼
 常務・総務信用担当―池添水男(岡田同)▼
 常務・事業部担当―吉川一危(日章同)▼
 常務・園芸指導部担当―松下秋義(前浜同)

市亮一(大隊専務)日章―山本通夫(日章同)前浜―松下秋義・常務兼務(前浜組合長)国府―高村秀吉(国府専務)稲生支所長代理井上三於(稲生専務)

▼農協合併は、昭和三十六年に

島井武義氏

足なみそろわず
十農協でスタート

ました。市では昨年五月に合併研究協議会をつくり、数十回の研究会を開いて研究した結果、十二月に合併推進協議会に切り替え、合併予備契約書に調印。ことし二月二十六日に各農協が一斉に合併総

三農協がそろわなければダメという条件つき)十市農協は香決三和農協は流会し合併議決にいたらすまた長岡農協も三月二十八日に開いた臨時総会で、合併の方向へ努力をするが合併議決はさしひかれることになったものです。

農協合併助成法ができてから、全国的に進められているもので、県下を十七農協(現在百十三)に整備する構想の先陣をきって市農協の誕生が各方面から注目されている

▼合併推進協議会をはじめ関係機関の強力なすすめにもかかわらず足なみのそろわなかったのは、組合員へのPR不足や何十年となく親しんできた地元農協が支所となつてさびれ、不便になるのではないかとといった不安。若い層と幹部との断絶、それに個々のお家の事情、役員ポストの不安などではないかといわれています。

▼新農協では機会のあるたびに合併への勧奨を行ない、はじめの目標どおり全農協一本化を目指して働らきかけたいといっています。

▼支所長 上倉―岩原寅男(上倉専務)瓶岩―岡本卓一(瓶岩組合長)久礼田―沢村栄作(久礼田同)岡野―山本幸雄(岡野専務)野田細川益秀(野田組合長)大隊―武

会を開きました。当日はあいにくの雨で組合員の出席が悪く、開会が大幅に遅れる組合ができましたが、十一農協が合併を決議(このうち長岡農協は十

を聞ききました。当日はあいにくの雨で組合員の出席が悪く、開会が大幅に遅れる組合ができましたが、十一農協が合併を決議(このうち長岡農協は十

